



## 【戦評シート】

平成28年 7月18日(月)	協会名:	秋田県 バスケットボール協会									
場所: CNAアリーナ (Mコート)	記入者:	根市 総 武田 憲									
チームA 横手南	39	<table border="0"> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>6-17</td> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">60</td> <td>チームB</td> </tr> <tr> <td>7-16</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">城南</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> </tr> <tr> <td>16-15</td> </tr> </table>	}	6-17	}	60	チームB	7-16	城南	10-12	16-15
}	6-17	}		60			チームB				
	7-16						城南				
	10-12										
	16-15										

スターター	チームA: #4, #6, #7, #8, #12
	チームB: #4, #5, #6, #12, #13
ディフェンス (試合開始時)	チームA: <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB: <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

今大会の決勝戦は、全県春季大会の覇者、秋田市立城南中学校と初優勝を狙う横手市立横手南中学校の戦いとなった。

1Q、先制したのは横手南。#7鈴木のミドルシュート。しかし、動きに固さが見られ、リズムがつかめない横手南に対し、主導権を握ったのは城南。#13木村のドライブ、#4齋藤と#6長谷川のインサイドでの得点、#12工藤の3Pなど連続して15点を重ね一気に突き放す。残り3分を切ったところで横手南はたまたまタイムアウト。タイムアウト明け横手南は#8鎌田のミドルシュート、#4齋藤のゴール下での得点で応戦する。しかし、城南は#5浅利を起点に落ち着いた試合運びで流れを渡さない。結局17-6と11点差で1Qを終えた。

2Q、追いつがる横手南は#4齋藤を中心に反撃を試みるが、城南の堅いディフェンスを崩すことができず、得点が伸びない。対する城南は、安定した試合運びで、#4齋藤、#5浅利の3P、#13木村の速攻でさらにリードを広げる。何としても流れを引き寄せたい横手南は残り3分でタイムアウトをとる。タイムアウト明けからディフェンスのプレッシャーを強くし、流れを引き戻しにかかる。#4齋藤の速攻や3Pで必死に食い下がり後半につなげる。城南が33-13で20点リードして前半を終了する。

3Q、横手南はインサイドのディフェンスを強め、攻撃の起点を作ろうとする。オフェンスでは、スクリーンを効果的に使ってチャンスを作り、#7鈴木のミドルシュート、#8鎌田の速攻、#6佐渡のインサイドなどで得点を重ねる。一方の城南も#5浅利のドライブ、#5浅利から#4齋藤へのコンビネーションプレーなどで着実に加点していく。一進一退の攻防が繰り返されたが、45-23と城南が22点リードし、試合は最終クォーターへ。

4Q、横手南は相手の#5浅利をフェイスガードで守り、攻撃のリズムを崩しにかかる。オフェンスでは#7鈴木のリバウンドショット、#6佐渡のゴール下での連続得点やジャンプシュート、#4齋藤のドライブ、#8鎌田のカットインからの合わせなどで得点を伸ばす。城南は終始、落ち着いた試合運びとテンポの良いパス回しで試合を支配する。#5浅利、#13木村のドライブ、#6長谷川、#12工藤のジャンプシュートなどで加点し、60-39で勝利を収め、5年ぶり2度目の優勝を飾った。両チームとも、最後まであきらめない戦いぶりで観衆を魅了した決勝戦となった。